

キャラクター名
小野寺 樹里亜 (おのでら じゅりあ)

プレイヤー名

シンドローム	パロール ノイマン		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	大学生
オプション			年齢	20	性別	女
覚醒	無知	衝動	解放	初期侵食率	36 %	
出自	貧乏	経験	大成功	邂逅	□パート・ショート	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	1	0			1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	5	0	0			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フルオートショットガン	射撃	5r-1	-	5 (+5)		同エンゲージ攻撃時、判定-1D、攻撃力+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
蛇王の外套		7			

所持品	
ブラックマーケット	

合計装甲: 7 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[98] 遺産継承者P		N		
秋ちゃん先生	P 慕情	N 不信任		
有馬教授	P 尊敬	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
巨人の斧	3	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	攻撃力+Lv×3、判定-2D							
斥力の鎚	1	2	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果:	ダメージ付与時、Lv×2m移動							
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	【射撃】判定を【精神】に置換							
零距离射撃	2	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果:	判定+LvD、射程:至近に変更							
ブラックマーケット	1	-	常時	-	自身	自動	-	
効果:	常備化P+Lv×10							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	C値-Lv							
原初の黄:氷の茨	5	5	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	ラウンド間、自エンゲージから離脱時HP-LvD							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

都内のある大学に通うの大学生及び真の意味で次元に干渉する能力を持つUGN所属のオーヴァード。キャンパスライフを満喫していたある日、クラクションを鳴らして近づいてきた同級生の愛車が白線を境に張り裂けスクラップになった。物理法則では説明できないこのような超常現象が起きる頻度は日に日に上がり、終にはその原因が自分にあることが判明する。偶然にも彼女の通う大学には同系統の能力に覚醒した教授がいたため、彼の下で能力の使い方および天文学の基礎を学びながら、レネゲイドウイルスに苦しむ人々を救うためにUGNの一員として日夜任務(アルバイト)に励んでいる。ちなみに、パロールのイージーエフェクト「ディメンションゲート」は使用できない。

内弁慶で人見知り。あらゆる物事で失敗を恐れ奥手になりがちだが、真面目で努力家なしっかり者。内弁慶が発揮される"身内"と見なした相手の面倒をとことん見たがり、得意げな顔で「私がいないとダメなんですから」と言われた人物は、少なくとも友達以上の関係性であると彼女に思われている。家族仲は良好とは言えず、友人を作るのも苦手であったため、振り返ってみるとどこにも居場所がなかった時期が多く長い。「おまえみたいなのは中学を出たら働け」「じゅりあちゃん頭良くないから勉強しても無駄でしょ」といった心無い言葉を何度も浴びせられた。そんな彼女が、いまこうして楽しいキャンパスライフを送っているのは、小学校の頃の担任である秋ちゃん先生のおかげである。ほわわんとした雰囲気ですぐニコニコ。なんにも考えていなさそう、自分のクラスの生徒みんながそのニコニコの輪に入れるよう常に気配りを怠らない。彼女は、そんな秋ちゃん先生のひたむきさに救われた生徒の一人であった。分数の足し算から初恋の相談、そして奨学金の応募まで。ある時は母親のように、ある時は親友のように、ある時は一教師としてずっと隣に居てくれた。このような過去の経験から、苦しんでいる立場の人間に手を差し伸べ教え導けるような人物を尊敬し、自分もそんな優しく立派な教師になることを将来の夢としている。レネゲイドの神秘は彼女の人生に少々突飛なドラマを生んだ。しかしながら彼女は、そのような魔法じみた力や侵食値が掻き立てる衝動に感わされることなく、自分の夢をひたむきに追いかけて続けることだろう。